

ORIGINAL EROTIC FANTASY COMIC

夏のエイ型モンスター姦

はら 孕ませ 予防接種

よ ぼ う せ っ し ゅ

競初着	孕ませ	失神墮
乳首挿	膨乳	神経毒

EIKAN SUMMER
INVITATION



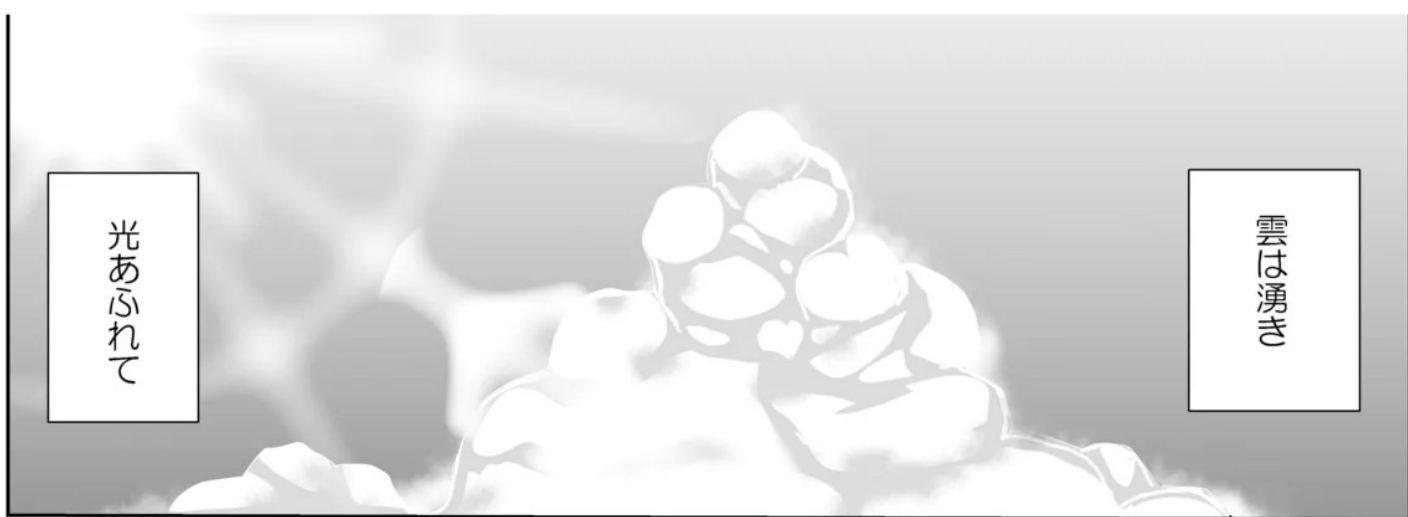
OVER 18 ONLY
らばた工房

Welcome to LARVATURS !

夢と、魔法と、淫獣の国へようこそ

夏のエイ姦
「孕ませ予防接種」





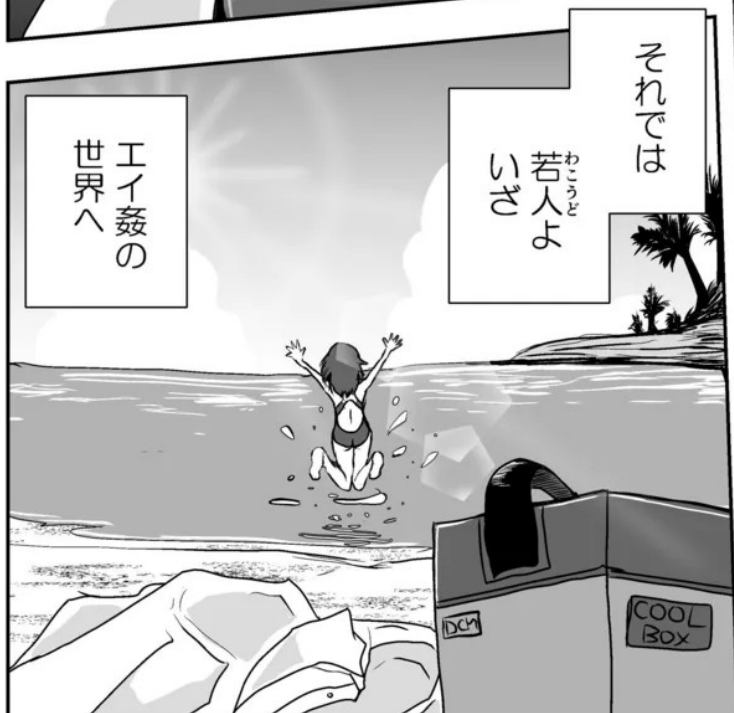
光あふれて

雲は湧き



時間まで
ゆっくりと

楽しんで
欲しい



それでは

わこうど
若人よ
いざ

エイ姦の
世界へ



ようこそ
ラーバタスへ

今回は
「エイ型モンスター」の
生態について紹介する



女はうっかり
砂浜に潜っていた
エイの背を踏んで
しまったようだ

その尻尾にある
毒針で女に
「注射」を繰り返す

この毒針は恒例の
「強い催淫効果の
ある神経毒」で

女を
性的奴隷に
変えてしまう

速やかに
女の体内に
浸透し

毒は女のカラダをも
変化させる

胸は大きく膨らみ
腰も肉感的になる

「ムチムチ化」だ

これで女から
マナが
出やすくなる

この世界の
モンスターの
常套手段

乳首は硬く
勃起する

女は興奮を
おさえられない

「クアック」は
空中でも
生息できる
エイ型モンスター

冒険者たちは
「クアック
「ヤブ医者」
と呼んでいる

尻尾にあるトゲを
注射のように
やたら何度も
打ちたがるからだ

細く長い
生殖器は左右の
ヒシの付け根に

合計二本
ついている
もちろん絶倫



女はエイに
連れられ
岩陰に

毒に支配された
女の体は
性的刺激に
飢えていた

女は膝をつき
エイを受け入れる

エイは二本の
ペニスを
代わる代わる
挿入し

女の膣を
ひっかきまわす

エイは女の「なか」
があまりにも
気持ちよかったのか

溜まっていた精液を
女の中に既に
漏らし始めていた



女の中に注入
されるのは
精液だけではない

例の尻尾の
トゲ注射だ

「ヤブ医者」の
尻尾にある
無数の毒針は
女の脚に絡みつく

尻尾で毒を女に
注入しながら
性器も挿入する
という性交をする

自由に
出し入れできる
無数の注射針は

女に絶えず
神経毒を
流し込む

毒は乳房を
パンパンに
腫れあがらせる

乳首は
硬く強く
勃起する

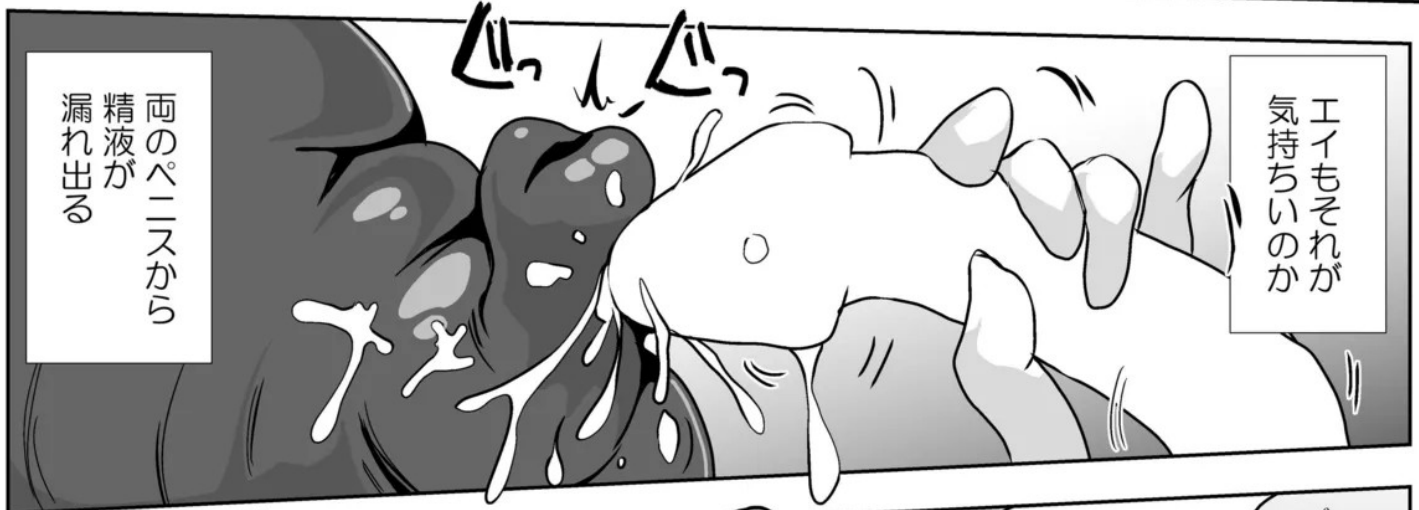
女は乳首を
犯してほしくて
たまらない



女は
触手のような
ペニスを
自分の乳首にあて

小刻みに
動かす

布越しでも
その快楽は
強烈だ



エイもそれが
気持ちいのか

両のペニスから
精液が
漏れ出る



すると
腹の下から
もう一本

極太のペニスが
突き出てきた

女は
躊躇なくその
肉棒に食らいつく

そして
乳首を晒し
エイのペニスを
差し込む

女は体を使って
懸命に奉仕をする





モンスターの
精液は
女の中で

さらなる
快楽を与える



精液は
まだまだ
溜まっている

もっと
……
もっと
して……

その
大きなので
私を……
私を
犯して……

エイは
女の願いを
聞き入れる
事にした

螺旋ペニスは
女の肛門に
差し込まれた

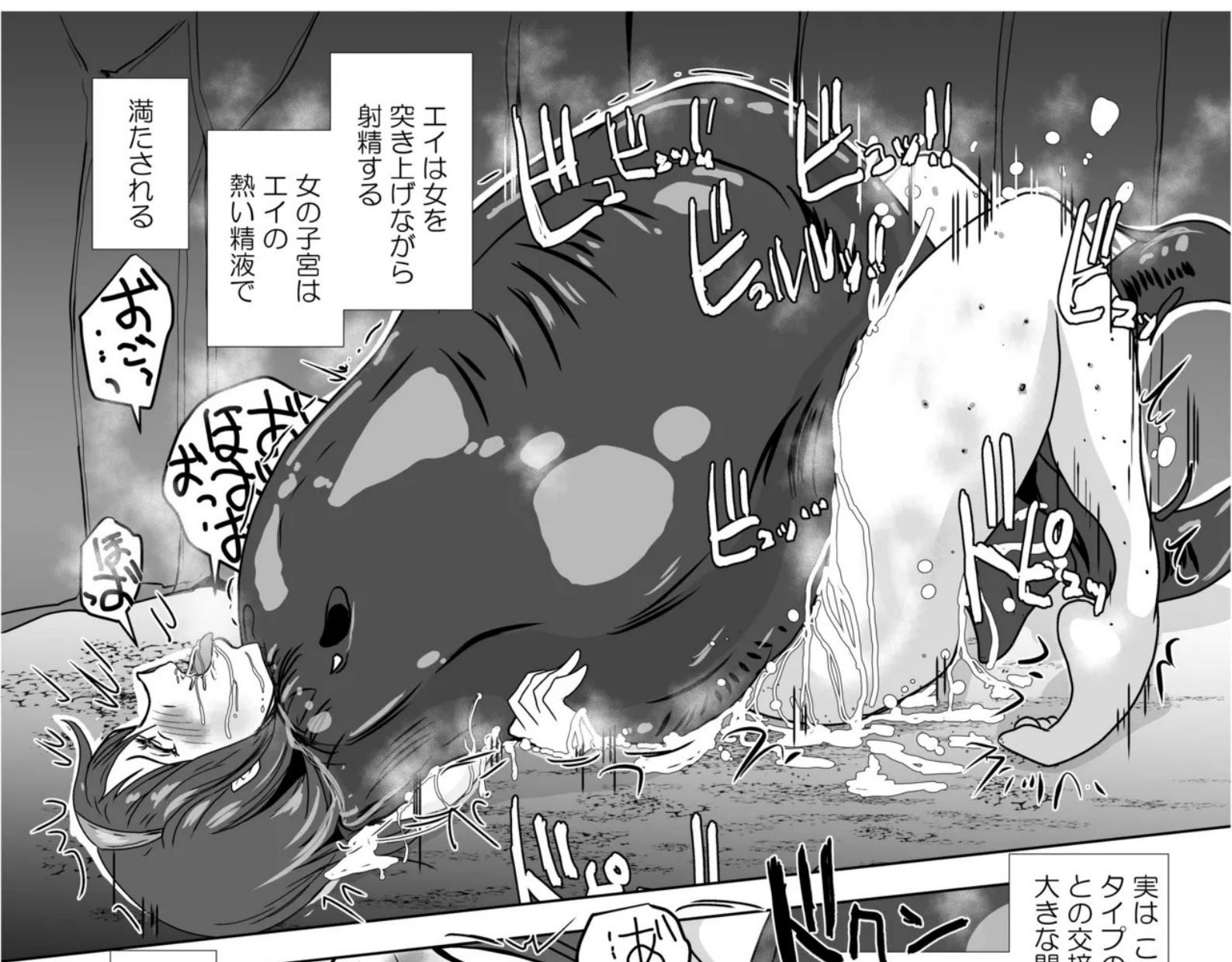
ぐりぐり

おっ？

ぐりぐり

螺旋の一本は
腸の奥へと
刺し込まれる





エイは女を
突き上げながら
射精する

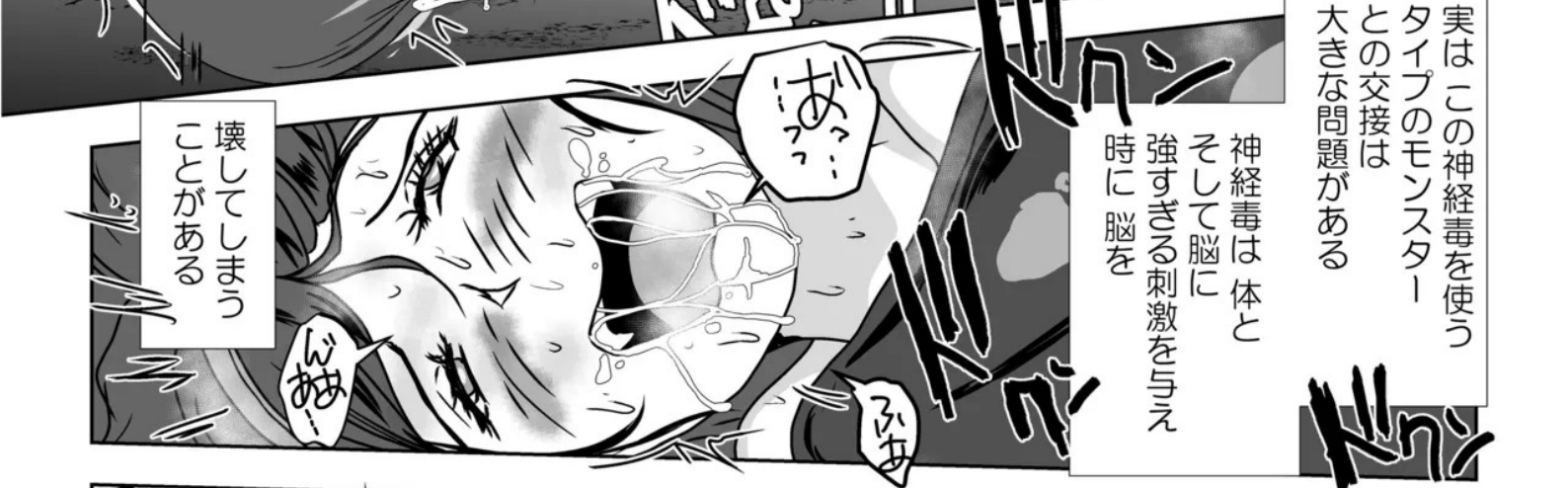
女の子宮は
エイの
熱い精液で

満たされる

実はこの神経毒を使う
タイプのモンスター
との交接は
大きな問題がある

神経毒は体と
そして脳に
強すぎる刺激を与え
時に脳を

壊してしまう
ことがある



注射跡
だらけになった
哀れな女の脚は
既に

キャパオーバーの
神経毒が注入
されていることを
物語っている



お願い……
孕ませて

孕みたい

あなたに
孕まされたい

既に思考は混濁
性的欲求のみが
体を支配する

「モンスターに
孕まされる」ことは
服従で隷属で
羞恥で……

そして
この世界の女に
仕込まれた
極上の悦びだった

しかし
この状況は
危険だ

この女のように
モンスターとの
相性がハマリ
すぎると……

孕む……
孕む……

……こんな
状態で孕んだら
助からない

快楽に
耐えきれず
脳が物理的に
溶けてしまう

「ロスト」して
しま……



モンスターに
してみれば

マナさえ回収

できれば

あとは女が
どうなろうと

知った事
ではない
だろう

んぎょ
あ...

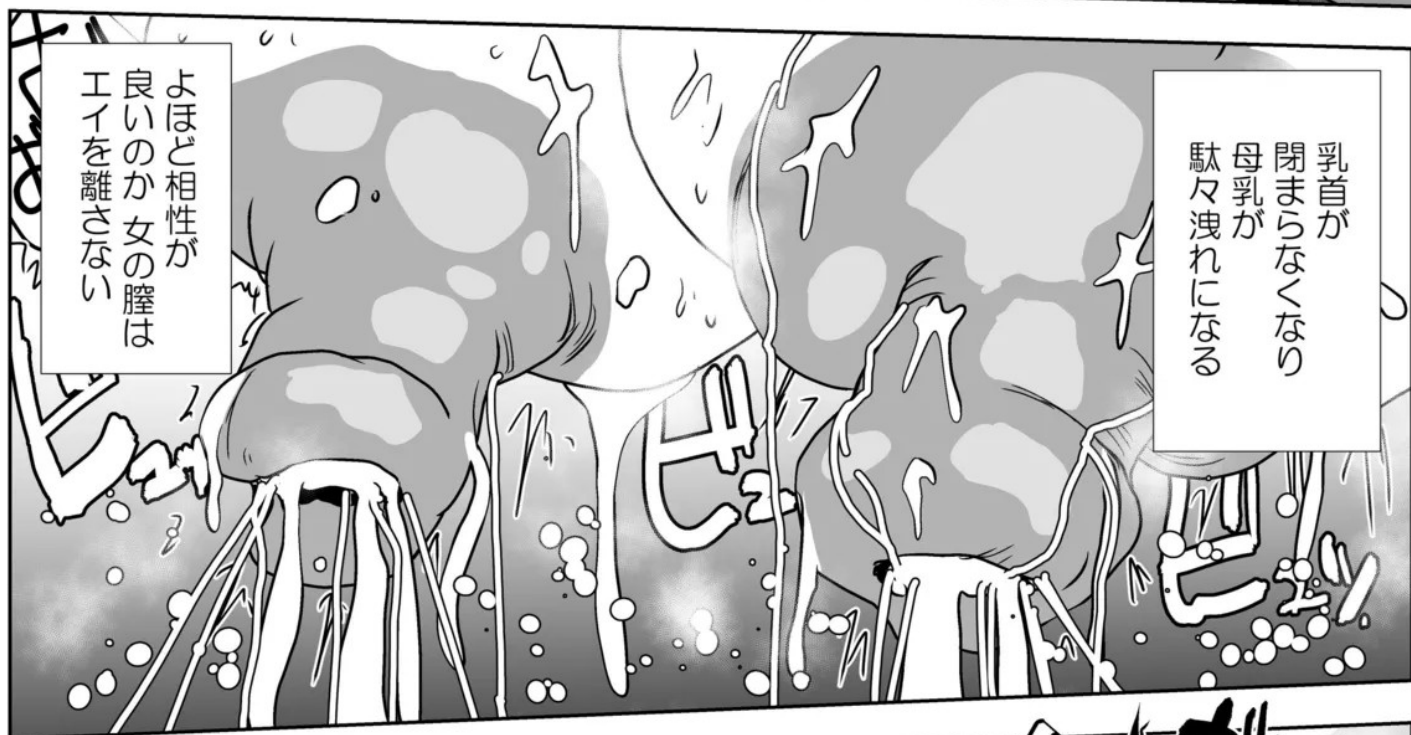
孕まされた女は
濃厚なマナを
吐き出し始めた





恐ろしい
刺激が女を犯す
痙攣がとまらない

口は閉じることが
できず
よだれを垂れ流し



乳首が
閉まらなくなり
母乳が
駄々洩れになる

よほど相性が
良いのか女の膣は
エイを離さない



自分がロスト
されかけている
というのに……

しかし大丈夫だ
あの神経毒の
注射には
「副作用」がある

それが脳沸騰から
女を守る
「予防薬」だ

エイはこの女に
執拗に注射を打ち
女をロストから護った

この女に
消えて欲しく
ないのだから

女の背後から
たっぷりと残る
精液を注ぎ続ける

孕んだ女は
全身が性器状態

抱きしめて
……抱き
しめ……て

抱かれ……
ながら……
犯されたい
……

快樂地獄を
堪能する

皮膚は
性的刺激を倍増し
抱きしめられる
だけでも 女は

何度も絶頂を
繰り返す

エイは
孕ませた女の
腹に

さらに射精する
精液は女を
内側から犯す

女はロスト級の
快樂の中
痙攣しながら

ロストは
まぬがれた
ものの

泡を吹いて
失神して
しまった



しかし
女の体からは

まだ良質のManaが
にじみ出る

意識はなくても
体が反応する

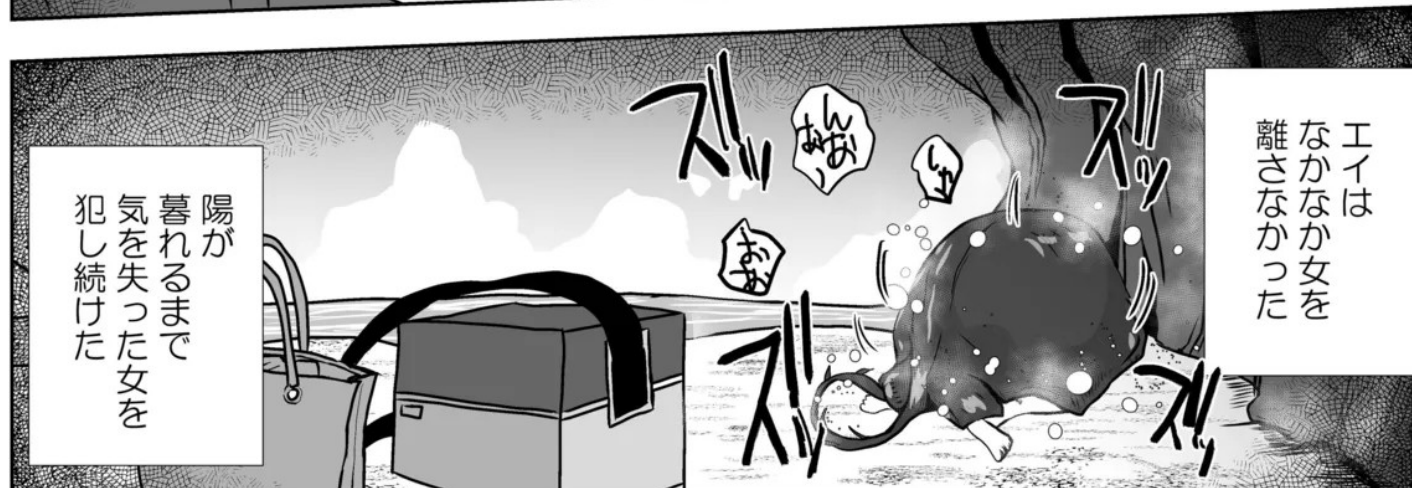
これは
神経毒の
正常反応で

意識が無くても
脳が直接反応し
Manaを搾り取れる



エイが二本の
極太ペニスで
女を突き上げる
たびに

女は意識無く
喘がされる



エイは
なかなか女を
離さなかった

陽が
暮れるまで
気を失った女を
犯し続けた

女は、街を出るとき、
新発売とやらの
試供品ドリンクを
もらった

美容と健康と、
そして



「人の尊厳を守る」
飲み物だそうだ

女は、その商品説明に
違和感を持ったが、

深く考えずに

女はその甘ったるい

ドリンクを飲んでしまった

これは違う 何かが違う
膨乳も 体形変化もない
……そしてあの
モンスターに
犯される
興奮も無い



体は感じるけど
何かが違う



「なにこれ
なにやってるん
だろう……」



女は動かなくなってしまうた。

このドリンクはまだ研究段階の「精液中和剤」入りだった。

それはモンスターと女の間にある「快楽や精液のやりとり」を遮断してしまった。

興奮も抑えられたように見えたが

彼女の肉体なのか脳なのかそれとも心なのか

何かが甚大なダメージを受けていた

それはモンスターがこの女の為に施した

「予防接種」も無効化してしまったからだ

マナがでなかったからなのか、気に入った相手が動かなくなったからなのか

モンスターは寂しそうにその場を後にした。

想いの抜けた肉体はこの世界に存在できない。

女の肉体は帰還魔法のようにその場所から消えていった。



BAD END

【ヒロイン：水瀬朋美】

王立魔法アカデミーの学生だったが、卒業後に親友と共にツアー会社を設立する。現在は、そのツアー会社のガイドをして、日々、この世界へ来る訪問者の案内をしている。

その均整の取れたスタイルと美しいビジュアルの割に、そそっかしいところもある。ピュアで、まっすぐな性格。基本、人を信じやすい。

なお、彼女が言うには、今日はユエン海岸で待ち合わせとのことだが、今、彼女のいる場所はファールリノン海岸。岩場が多く、モンスターも多く棲んでいる場所だ。

「マルティクの街で買い物をして、海へ」と覚えていたので、街に近いファールリノンへあたりまえのように、来てしまった。



【モンスター：クアック】

温厚なエイ型モンスター。群れずに単独でいる。頭はかなり良いとされている。本編中にもあるように、空気中にも生息でき、低空を飛ぶこともできる。しかし、ずっと空中にすることはできず、日に1回程度は、水の中に潜る必要がある。尻尾のトゲを自由に動かし、女に神経毒を流し込む。興奮時以外は、美しい緑色で、和名を「ヒスイトゲトビエイ」という。

＊「和名」：この世界ではその意味はよくわかっていないが、「別名」と同義の言葉として存在している＊

【精液中和剤 (アモリジン)】

モンスター達の精液を中和し、無害化するもの。同時に、快楽も消えてしまうので、物語の主な舞台であるこのローレルウィン連邦では、ほとんど流通しない。昨今は新薬の研究が進み、都市部の団体が推奨しているらしいが、そもそもこれらの情報は集合知に頼る所が大きく、その実在も定かではない。



【新秩序様式「Neordin」】

最近、都市部の方でよく言われる言葉で、集合知を使って広まりつつある。このいくつかの新秩序とやらのひとつに「**モンスターとの交接禁止**」がある。

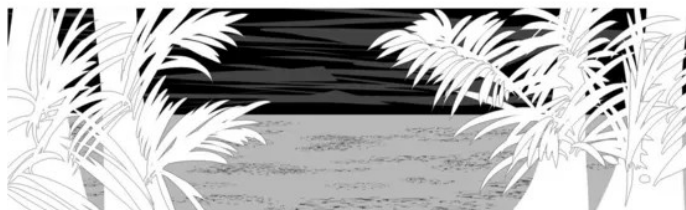
これまでも一応「モンスターと交わることは良くないよね」という通念にはなっているけれども、現状どの国にも「法」は無い（同伴入国は禁止）。

モンスターは、女の寂しさを埋めるには丁度良いし、性交（マナ摂取）を目的とする場合、女を攻撃しない。さらには、彼女たちの心と体を保護するための方法さえ持っているのだ。彼女たち個人単位では、モンスターとの性交自体についてはそれほど抵抗は無いと考えられる。

そんな黙認の現状を引っ張り出して、明確に法制化しようという訳だ。特にターゲットになってるのは「モンスターにモテる女」。モンスターが好むのは、見た目や資産、地位ではなく、オーラなのか性格なのか、明文化できない要因で、こればかりはどうしようもない。

最近は集合知で「**モン畜女**（モンちくオンナ）」などと揶揄する言葉さえ散見される。他者へ不満を持つのは人の性なのかもしれないが、誰かを落としても、自分が上がる訳ではない。これまで、この世界ではあまり見られなかった現象だ。

この「**新秩序様式＝ネオデリン**」は今のところ、都市部のみの流行で、ローレルウィン連邦にはそれほど影響は無そうだが……。



【「LOST」の条件について】

①破壊、失血、体内の異変などで「器としての肉体が物質世界に存在できなくなった時」

これはあなたの住む世界と同じだと思う。また、あなたの世界同様、物質界としてのラーバタスに存在するには、あなたの魂を入れる器（肉体）が必要である。その生命活動が可能な物質がなくなった場合、物質界としては LOST と定義される。

②「脳が焼き付き、生理機能が完全に稼働しなくなった時」

これは、少し特殊かもしれない。この世界では「脳に直接刺激が加わる」ケースが、ままだ、ある。周波数や、透過光などもその出力如何では脳を焼きつかせることができる。

本編中の「快樂 LOST」もその一つで、あまりの快樂に脳処理が追い付かなくなり、その追い付かない状態でさらに長時間、強烈な快樂の入力をされ続けると、脳が焼けたような状態になり、元に戻らなくなる。生姜焼きが生肉に戻らないのと同じと思ってくれればいい。

③「生きる希望、望みなどを失ったとき」

ラーバタスの住人は皆、基本、生きようとする。いくら落ち込んでも、嫌なことがあっても、この世界は住人を祝福するし、皆そう信じているからだ。しかし、何らかの理由でこの世界を信じられなくなった時、その祝福を拒否したとき、あなたは LOST する。ただこれは、あなたにとっては「世界が消えた」ように見えるだけだ。元の世界での生活に合流していけばいい。よほど幸運が無い限り、この世界の事は二度と思い出さないだろう。

なお、人間が LOST した後は、モンスター同様、その肉体は灰となって消え去る。

あとがき&奥付

まじごめんなさい（冒頭土下座）。……楽しめましたでしょうか？何か残りましたでしょうか？堂々巡りのエロティックファンタジー。云いたいことさえまとめられない無能の高石です。もう、どうなってもいいや（よくないわ

貫いてないですよ。芯が甘いですよ。読後感さえも犠牲にして、わざわざ蛇足である「LOSTページ」を入れたのに。

今回はストーリー性がほとんどない、ひたすら交わるものを描くつもりだったのですが、なにも無いからこそ、「あるもの」を描けるんだと思いついてしまい、ネーム段階からもうぐちゃぐちゃです（ちゃんとやれよ

そこで「モンスターの快楽」という光（闇？）の反対側を描かなくては異種姦を描いたとは言えないって思いというか、枷を、いまだ！と思って。そして、明かりはついていなくても間取りを知り尽くしていると思っていたその暗闇で、見事に迷子になった次第です。

今回のエイは、朋美にバシバシ注射を打ちまくる→これが快楽増強&予防接種ですよということなんですが、この快楽&保護は、別にエイに限った事ではなく、注射という方法に限らず、一般的なモンスターに備わっている機構で。

それがウチの漫画で、モンスターがすぐ挿入したり精液をかけたりして膨乳描写があるのは、ゲタシが大好きだからその保護剤注入の副作用ってこともあるんです。聞いてなかったよねそうよね描いてないもんね描かなくていいかなって思ってたの。

自分の仕事は、愛する読者の皆様がこの世界で楽しく遊べるように、アトラクションを整備することで。このアトラクションはどのような材質で、こんな意味で作ってるんだからそれを理解しろーなんてのはどうでもいい事なんです。遊び方は人それぞれで、安全が担保されているから、あとは好きなように遊んでいただいたら。

だから「モンスターは女を保護するために何かしてますよ、どうですかみなさん、ちゃんと考慮してますよ！」みたいなものは描かなくて良いかなと思ってたんだけど「この保護が無くなるとうなるか？」を描こうとすると、結局、普段は保護されてたんだよ、とバラすハメになる。こういうのダサイかなあって思う訳です……。これも、ひとつの資料として、提供させて頂きます。らばたの女性がモンスターと交際しても傷つかないのは、前述のようなことと、あと体を守る宝珠、そして、そのアトラクションランドとして来場者を護る世界の仕組みです。これも追々お出しさせて頂きます……。

他の話します。当初の作品のタイトルは「夏のエイ姦孕ませ」だったのですが、直接「エイ姦」って書きちゃうとDL販売時において「実在の動物との云々」という規則に抵触する可能性があるので、直球勝負できませんでした。

今回フォント大きくなってます。らばたのフォントサイズは昭和基準（アニメージュ文庫 B5 版 ナウシカ）だったので、平成を加齢華麗に飛び越え、令和に更新されました。

さて、ちよくちよくご意見を頂ける「例のストーリーはどうなった？」ですが。素人が長いストーリーものを担当さんの助力も得ずに走り切るのは相当の勇気と希望が必要で、相変わらず難航していますが、とにかく、牛歩、いや亀歩？ナメクジは結構速いし……とにかく進んでいます。愛する常連の皆様が、この世界への想いを無くし、元の世界に戻られてしまうまでには、この世界の灯を消さぬよう、日々、高石は命を燃やしています。灰になる前に。

2025 年 08 月 05 日
火 5:18 高石ふう

【奥付】・誌名：「孕ませ予防接種」

- ・初版：2025 年 08 月 17 日（C106）印刷：株式会社 栄光
- ・サークル名：らばた工房（EroticFantasy ラーバタス） <https://www.larvatur.info>
- ・著者：高石ふう / X：@lavatakoubou





See you on the
next adventure!



らばた工房 : X





【23P】製本版→DL版の改訂部分について

この肝心なシーンですが、製本版では「なにも感じることはできずに、この世界へ興味がなくなり、LOSTしてしまう」という解釈なんですけど、DL版はよりマニアックな「心は感じるができないまま、疑似妊娠させられ、体が耐えられずに……」という描写になっています。

入稿したときは物語的に↑のほうが良いと思ったんですが、DL紳士さまにおかれましてはこちらの方が好みだろうな……と思い、悩んだ挙句、DL版販売にあたって改訂致しました。

